



ペンネーム	中村 信雄
-------	-------

### 【エピソードのタイトル】

## 娘たちから学んだこと

### 【エピソードの内容】

「なあ！勉強もスポーツもあきらめさえしなければゴールは見えてくるんだよ！！」

春の強烈な日差しの中、額から汗が流れる小学校3年生の娘と、その友達の小学校6年生の女の子に僕は話しかけた。返事も聞こえるか聞こえないかわからないほどの大きさだった。

..しんどいだろう.. 彼女たち2人にとっては初めての30キロ...そう、海峡ウォークに初参加したのだから。

そう話かけつつも、僕は歩き続けても、途中で棄権しても彼女たちを褒めてあげようと思った。

何故ならば、30キロもある、きっと彼女たちにとっては未知数の距離を歩くという事に参加する決意をした時点で彼女たちは勝者！と思っていたからだ。

ならば、僕が小学校3年生の時に「参加しないか？」と尋ねられたら、きっと二つ返事で「いやだ」と言っていたと思うのだ。

だから僕の内心は「10km 歩けば「もういい」というに違いない。タクシーかバスでもひろって帰るかな...来年は、10.1km歩けば進歩してるんだから」と思った。

「.....」『.....』

10キロ過ぎても彼女たちは弱音を吐かなかった。

それどころか歩き始めほどの、元気さは消えてしまったけれども彼女たちの瞳はイキイキしていたように思う。

海峡タワーが見えた時に、走り始めた君たち。ゴールを最高の笑顔で迎えた君たち。

教えるつもりが教えられたようだ。【あきらめなければ...】という事を。

[君たちに告ぐ！]

君たちが30キロを歩ききっちゃったからさあ、お父さんとしては出来ない事をやらないと恰好つかんやん？

苦手な事をやらんと恰好悪いやん？

だから、決めたんだ。

学生時代から苦手だし、体育の時間はサボってた“走る”という事をやってみよう！

って事で、せっかく近くでフルマラソンがあるなら出ないとね！

参加費の一部を東日本のチャリティに廻して頂けるなら絶対に出ないとね。

被災者の人たちも諦めずに顔晴ってるんやからさあ、お父さんも頑張るわ！

君たちはわかっていると思うけども、お父さんの体型はマラソン体型じゃないんだよね

(笑)

でも、諦めないから！

ゴールできたら、褒めてくれよ！って事で2012年海響マラソンに完全メタボなお父さんは参加します！

君たちに教えてもらった事を今度はお父さんが実践してみるよ！